



2025年5月13日

各 位

会 社 名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸山 栄樹
(コード：6193 東証グロース)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 黒田 勝
(TEL. 03-3578-5300)

2025年3月期の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2025年3月期連結業績予想と実績値の差異 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 7,050	百万円 422	百万円 420	百万円 270	円 銭 93.92
実 績 (B)	6,488	279	185	111	39.22
増 減 額 (B - A)	△561	△142	△234	△158	
増 減 率 (%)	△8.0	△33.8	△55.9	△58.9	
(参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 4 年 3 月 期)	6,692	371	454	202	69.43

2. 業績予想との差異が生じた理由

2024年5月13日に公表いたしました連結業績予想につきまして、IT&コンサルティング事業では、子会社のバーチャレクス・コンサルティング株式会社で新規事業として拡大を目論むデジタルマーケティング領域の案件獲得が低調に推移したことや株式会社タイムインターメディアで基幹システム開発案件における損失額が前連結会計期間に引き続き当連結会計期間も継続して増加したこと及び特定の得意先の急激な信用力悪化に伴い当第4四半期連結会計期間において当該得意先に対して売上の計上を停止するとともに、収益性の低下に伴う仕掛品評価損の計上を行ったことから、売上高が544百万円、売上総利益が178百万円下回る見通しとなりました。

アウトソーシング事業では、高利益ながら前期第1四半期会計期間末をもって終了した新型コロナウイルス感染症に伴う特需案件の影響を新規案件受注および既存案件拡大で埋め合わせる計画でしたが、売上、売上総利益ともにカバーするには至らず、この結果、当該セグメントでは、前回予想に対して売上は16百万円、売上総利益は39百万円下回る見通しとなりました。

一方で、販売費及び一般管理費については、株式会社タイムインターメディアで特定の得意先の急激な信用力悪化に伴い当第4四半期連結会計期間において当該得意先の売上債権に対して貸倒引当金繰入額を計上したものの、費用削減に努めた結果75百万円の圧縮をすることができたため、営業利益については前回予想に対して142百万円下回る見通しとなりました。

また、当連結会計期間において、前回予想で見込んでいなかった当社が出資する投資事業組合（12月決算）に関する投資事業組合運用損87百万円を営業外費用にて計上しています。

これらの状況から、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、上記の通り修正いたします。

（注）上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上